-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、腎臓内科では、聖マリアンナ医科大学で行われた「IgA腎症の治療法と予後との関連に関する後方視的な多施設大規模研究」という研究のデータ（診療情報等）の提供を受けて、下記研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での研究内容の問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合には、問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　IgA腎症患者における臨床的背景因子と腎予後との関連に関する二次解析（厚生労働省難治性腎疾患分科会「IgA腎症後ろ向き研究」）

[提供を受けている情報の由来者（研究対象者）]

2002年1月から2004年12月までの間に、初回の腎生検によりIgA腎症と診断された18歳以上の方で、厚生労働省難治性疾患克服研究事業「進行性腎障害に関する調査研究班」IgA腎症分科会による「IgA腎症の治療法と予後との関連に関する後方視的な多施設大規模研究」（研究代表機関：聖マリアンナ医科大学〔機関の長：学長 三宅 良彦〕）の対象となった方

[提供を受け、本学で利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、body mass index（BMI）、収縮期血圧、拡張期血圧、脈圧、血清クレアチニン、推算糸球体濾過量（eGFR）、血清尿酸値、尿蛋白量、尿潜血、血清アルブミン、腎生検時期、追跡期間、腎代替療法導入の有無・時期、血清クレアチニン上昇の有無・時期、高血圧、糖尿病、高尿酸血症、ステロイド治療、扁桃摘出術、尿酸降下薬治療の有無。

[利用・提供の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

IgA腎症において、患者の臨床的背景因子と腎予後との関連を検討。

[研究実施期間および主な提供方法]

期間：倫理審査委員会承認後より 2031 年 3 月までの間（予定）

提供方法：□直接手渡し □郵送・宅配 ■電子的配信 □その他（　　）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[東京女子医科大学における機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者：東京女子医科大学　腎臓内科　教授　片岡 浩史

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　腎臓内科　片岡 浩史

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日 9 時～16 時）